

授業科目名 (講義題目)	起業機会探索		開講学期 単位数	秋学期 2単位
担当教員	五十嵐 伸吾	講義コード 17176033	科目区分 対象学生	選択 2年生(1年生)
開講予定日	①② 10/6 ③④ 10/13 ⑤⑥ 10/20 ⑦⑧ 10/27 ⑨⑩ 11/1 (水) ⑪⑫ 11/10 ⑬⑭ 11/17 ⑮⑯ 11/24			
履修条件	QREC「技術系アントレプレナーシップ」と並行開講。必須ではないがQBSベーシック科目が履修していることが好ましい	キーワード	起業プロセス、起業機会、技術シードの商業化	
全体の教育目標	ケース学習や実技術シードからの商業化に関わるプロセスを取得する。グループワークを通じチームマネジメントを体験的に学習する。	個別の学習目標	技術ベースの起業スキルの取得。技術系人材とBホルダーとのネットワーク形成。	

授業の概要	<p>本講座は九州大学ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センター(QREC)が提供する(QRECでの科目名は「技術系アントレプレナーシップ」)。近年のアントレプレナーシップ研究では「起業プロセス」への関心が高まり、中でもプロセスの発端となる「起業機会」の発見(あるいは創造、認知)とその機会をどのような形でビジネスに翻訳するかが注目を集めている。学術研究に留まらず、ビジネススクールを含めた教育においても、それは変わらない。本講義では、いくつかの技術シードを取り上げ、シードからビジネスへ翻訳するビジネスコンセプティングの演習を行う。特にそのシードのコンピテンシーをいかに築き、それを足掛かりにどのように攻め、どのように守るか、そのためにはどのようなビジネスモデルに翻訳するかなど、これまでQBS(あるいはQREC)で学んだ知識、スキルを統合しビジネス立ち上げの疑似演習を行う</p>
授業の進め方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 講義は秋学期(第3Q)2コマ連続で開講する。 2. 講義の議論の密度を高めるために、事前課題の提出を毎回求める。 3. 講義は座学、ケーススタディー、招聘講師からの技術シードの提案と議論の形で進める。ケーススタディー、講師招聘の回は、グループワークを中心とする。
教科書および参考図書	<p>【教科書】キャスリーン・アレン『科学者が「起業」で成功する方法』日経BP社、2009 【参考図書】スティーブン・ブランク『アントレプレナーの教科書』翔泳社、2009 【同上】ウィリアム・バイグレイブ、アンドリュー・ザカラキス『アントレプレナーシップ』、日経BP社、2009 【同上】アレックス・オスターワルダー他『ビジネスモデル・ジェネレーション』、翔泳社、2012</p>
試験・成績評価の方法等	<p>事前課題 30% …毎回開講前に事前レポート(2枚程度)の提出を求め、評価に加える。 出席・発言 20% …出席および講義中での発言を評価に加える。 最終レポート 50% …最終レポートを試験に代替する。</p>